



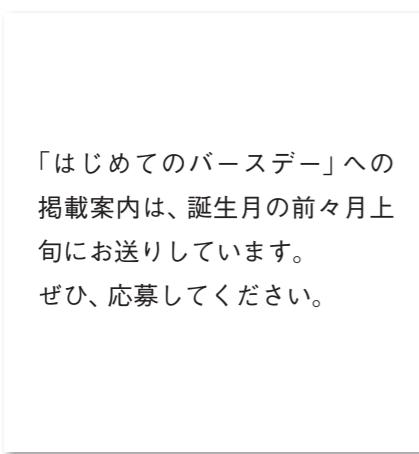
HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

2月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



中越 耶奈ちゃん
駄場
さあ！ 動き回りますよ～！



「はじめてのバースデー」への
掲載案内は、誕生月の前々月上
旬にお送りしています。
ぜひ、応募してください。



渡邊 結心くん
上村
おじいちゃんの抱っこが大好きで
す。ハイハイがとつても速いよ！



原田 路奈ちゃん
上町
パパが大好き♡ 早くにいにと
一緒に歩きたいな！

みんなでつないでリレーエッセイ



演をすることが多いですが、令和元年から「元祖内子座落語まつり」を企画し、毎年6月に開催しています。現在は内子座が改修中のため、町内のさまざまな場所で行っています。

この催しは私と内子町出身の悠亭東輔さん、新居浜市在住の芸乃虎や志さんとの共催です。それぞれが縁のある社会人落語家を一人ずつゲストに迎える寄席です。コロナ禍で中斷した年もありましたが、内子座ではこれまでに3回開催しました。内子座はプロの落語家でさえ、「一度は立ちたい」と夢見る舞台だけでは、内子座ではこれまでに3回開催しました。内子座はプロの落語家でさえ、「一度は立ちたい」と夢見る舞台だけではありません。社会人落語家にとっては、地元在住でなければ観客として観るだけで、舞台に立つチャンスはほとんどありません。

私の夢は「社会人落語日本

一決戦」で優勝し、名人になることです。この大会は桂文枝師匠が大会長を務め、毎年12月に大阪府で開催されています。全国から社会人落語家が集い、日本一を競います。実は「元祖内子座落語まつり」に出演したゲストには、

内子座の舞台に立った後、同大会で華々しい成績を残している人が何人もいます。中にはなんと名人の座を獲得した人もー。まるで内子座がパワースポットのようです。内子座が改修中の今、私もいつも日々、修行を重ねています。舞台に上がる私を見かけたら、応援してもらえるとうれしいです。

▼次は、上山喜也さん||内子20
年にお願いします。

監修 内子町食生活改善推進協議会

●材料(4人分)

ブロッコリー	1/2個
カボチャ	1/8個
レモン果汁	1個分
Ⓐ シーチキン	1缶
塩	小さじ1/2
こしょう	少々

●作り方

- ブロッコリーは小房に分ける。カボチャは種を取り、皮付きのまま2等分に切る。
- それを熱湯でゆで、ザルに上げて粗熱を取る。
- Ⓐを混ぜ合わせてドレッシングを作る。
- 皿に②を盛り付け、③をかけて完成。



季節の一皿

SPECIAL DISH
冬野菜の
レモンドレッシングかけ



安川 みちこ
倫子さん
=内子 14=



内子のいいとこ「うちコト」

今回は「#うちコト」を付けて投稿してくれた中から、内子の歴史を感じる写真を3つ紹介します。



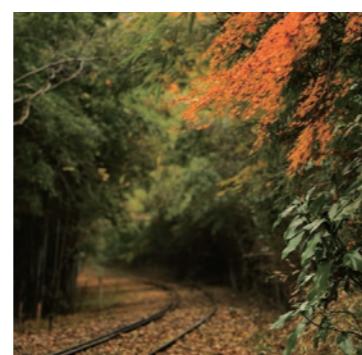
takuma3_photoさん

大正レトロな映画館「旭館」。当時のスターに差す光と影がドラマチック。



t.fukuocaさん

中川地区・愛宕山にある史跡。住民から地域の宝として守られる場所です。



55hiropon55さん

山中にひっそりと残る旧内子線の廃線跡。紅葉と落葉が美しく彩る一枚。

「うちコト」では内子の日常や暮らし、風景など内子のコトを発信中です。皆さんもInstagramの投稿に「#うちコト」を付けて内子町の魅力を発信してみませんか。

見るだけでも楽しめますよ。
ぜひ、フォローしてみてね！
QRコードをスキャンすると簡単に見られます。



Q 広報クイズ

「広報うちこ」2月号を読んで、①～⑥番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①日本語教室「〇〇〇〇〇〇〇●」の受講生を募集しています
- ②4月から「〇〇〇〇●〇〇」通園制度を開始します
- ③内子町20歳の「〇〇●〇〇」が1月11日に開かれ、節目を祝いました
- ④地震に備えるため、「●〇〇〇」診断や改修工事などで対策をしましょう
- ⑤サイコロで今年の運試し。正月恒例の大凧合戦「〇〇〇〇〇〇〇〇●〇〇」
- ⑥内子町精神保健ボランティアグループ「〇〇〇●〇〇」が、厚生労働大臣表彰を受けました

応募方法：ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。宛先：〒795-0392 内子町平岡甲168番地 内子町役場企画情報課 広報・広聴係 締め切り：2月28日（消印有効）当選者発表：「広報うちこ」4月号

●12月号当選者の皆さん

- 答え「ぼうねんかい」 正解数26
- ・日野 文康さん（内子18第2）
 - ・松田かれんさん（内子19第1）
 - ・谷尾八重子さん（内子20）
 - ・白石 光枝さん（松尾）
 - ・久保 義宏さん（富中）
 - ・山岡 晶子さん（岡第2）
 - ・大野智恵子さん（立石）
 - ・永見 雅之さん（堂村）
 - ・高鳥 正光さん（西予市）
 - ・山本美知代さん（松山市）

ごみを山林や河川、道路沿いなどに捨てる不法投棄が後を絶ちません。不法投棄は犯罪です。違反者は5年以下の懲役もしくは100万円以下の罰金、またはその両方が科せられる

くらしのエコロジー やめよう、なくそう 不法投棄

場合があります。景観を損なうだけでなく、水質汚染や土壤汚染など、私たちの生活環境にも悪影響を及ぼします。ごみをみだりに捨てる迷惑行為は絶対にやめましょう。

『不法投棄を防ぐために』

ごみの多くは、荒れた土地や人目につかない場所に捨てられています。不法投棄されたりごみは、投棄した人が分からぬ場合、土地の所有者や管理者が処分しなければなりません。定期的に草刈りをする、ロープや柵を設ける、防犯灯や防犯カメラを設置するなどして、不法投棄を未然に

防ぎましょう。環境政策室では対策として「不法投棄禁止」の警告看板を提供しています。必要な人はご相談ください。



町内の山林に捨てられた大量の粗大ごみ。ペットボトルなどの小さなごみのポイ捨ても不法投棄になる

【問い合わせ】
環境政策室
☎ 0893（44）6159

VOICE まちの声

わが家の耐震性が気になる

□築45年以上の古い家に住んでおり、地震が起きたときの耐震性が心配です。（70代男性）

■内子町では地震災害に備えるため、木造住宅の耐震診断や耐震改修工事の費用を補助しています。住宅内の

一部を強固な空間にする「耐震シェルター」など、対策方法はさまざまです。まずは建設デザイン課までご相談ください。

【問い合わせ】
建設デザイン課 建築・營繕係
☎ 0893（44）6157

心に寄り添う支援を続けて20年――

内子町精神保健ボランティアグループ「でんでんむし」

心の健康を支援し、誰もがその人らしく生き生きと暮らせる社会を目指して活動する「内子町精神保健ボランティアグループ「でんでんむし」」が、精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。活動が始まったのは20年前。当時は心の病や精神障がいへの理解がまだ十分に広まっていない時代で、「でんでんむし」のようにゆっくりでいい、悩みを抱える人に寄り添える場をつくりたい」という思いで始まりました。

同グループは隔月で精神保健をテーマにした勉強会を開くとともに、当事者や家族との交流を通して社会参加の促進に取り組んでいます。毎月第3木曜日には、ひきこもりがちな人やその家族が安心して過ごせる場としてのカフェを開いています。

会長を務める野中恵美子さんは「心の傷や痛みは外からは見えず、つらさや症状も人それぞれ。『これでいいのか』『何ができるのか』とメンバー同士で悩みながら歩みを進めてきました。特別なことはできなくても、きっとできる居場所が誰かの一歩につながるよう、温かな支援を続けていきたい」と思いを語りました。



内子町精神保健ボランティアグループ「でんでんむし」の皆さん。現在、20人のメンバーで活動中

【問い合わせ】
内子町保健センター
☎ 0893（44）6155



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

心を通わす交流「Uchiko World Festival」



HELLO!!!
FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手
オリビア・ビアニク
Olivia Bianic

内子町に来て半年が経ち、徐々にこちらの生活にも慣れてきました。内子で過ごす中で特に心に残っているのは、9月に開催された「うちこワールドフェスティバル」です。内子町国際交流協会の設立30周年を記念したイベントで、まちの人々と在住外国人との交流を深めることを目的に、さまざまな国文化体験が行われました。私は母国・アメリカのハロウィーンがテーマの体験ブースを担当。参加者が発泡スチロール製の小さなカボチャに色を塗る手伝いをしました。ブースには次々と子どもたちが集まり、マーカーで楽しそうに描き始めました。アートや遊びは言葉の壁を越えてくれます。私はまだ日本語が十分に話せませんが、身振り手振りや

簡単な言葉で心を通わせることができました。完成したカラフルなカボチャを誇らしげに見せてくれた、かわいい笑顔が忘れられません。私が英語を教える学校の子どもたちもいて、教室の外でも交流できうれしかったです。

この日は高校からの親友も駆け付けてくれました。彼女は私が内子町のALTになるきっかけをくれた大事な人です。一緒にフェスティバルを楽しめて、より特別な一日になりました。会場では多くの人が声をかけてくれ、その温かさに、このまちの一員になれたと感じました。親友にもその姿を見てもらえて良かったです。今後も皆さんとの交流を大切にしながら、さまざまな行事に参加したいです。